

平成15年の主な災害

① 7月梅雨前線豪雨

<気象概況>

梅雨前線は、九州北部に停滞し、19日（土）未明には大宰府で1時間104ミリを記録するなど、福岡県を中心に激しい雨が降り、日雨量は300ミリに達した。その後も梅雨前線は、九州北部に停滞を続け、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動がさらに活発化し、19日（土）の夜半から20日（日）の明け方にかけては、水俣の1時間81ミリをはじめとして、長崎・熊本・宮崎・鹿児島各県を中心に局地的に非常に激しい雨が降った。

○ 1時間雨量

福岡県 大宰府市 104ミリ（19日3時50分～4時50分）

飯塚市 80ミリ（19日2時～3時）

熊本県 水俣市 81ミリ（20日0時50分～1時50分）

○ 総雨量（19日00時～21日24時）

宮崎県 えびの市 431ミリ

福岡県 太宰府市 340ミリ、飯塚市 300ミリ

熊本県 水俣市 263ミリ

<人的被害>

(9/9 18:30現在 消防庁調べ)

都道府県名	人的被害			住家被害				
	死者 人	負傷者		全 壊 棟	半 壊 棟	一部 破損 棟	床上 浸水 棟	床下 浸水 棟
		重傷 人	軽傷 人					
福岡県	1	6	5	26	52	68	3,305	3,308
長崎県	1		1	2		7	3	63
熊本県	19	4	3	21	4	6	149	353
鹿児島県	2			1			3	49
その他9県			7	1		80	98	415
計	23	10	15	51	56	161	3,558	4,188

※長崎県の死者1名は鉄砲水により軽自動車押し流されたもの

※それ以外の死者は、土砂災害による

<公共土木施設被害>

(9/9現在)

直轄	14箇所	約 14億円
補助	2,573箇所	約 288億円
	福岡県	638箇所 約 136億円
	熊本県	637箇所 約 75億円
	長崎県	287箇所 約 15億円
合計	2,587箇所	約 301億円

<特色・注目点>

- ・ 予測を越えた豪雨と土石流災害
- ・ 地下街の浸水被害
- ・ 情報伝達、情報の受け手の活用能力の向上
- ・ 早期避難の重要性

<被災状況>
[福岡県]



土砂災害 (太宰府市原川地区)
だざいふ はらかわ



二級河川御笠川 (太宰府市)
みかさ だざいふ

[熊本県]



土砂災害 (水俣市宝川内集地区)
みなまた ほうがわちあつまり



土砂災害 (水俣市深川新屋敷地区)
みなまた ふかがわしんやしき



市道江南橋・古城線 つるた みなまた
市道江南橋・古城線 鶴田橋 (水俣市)

[福岡県]



二級河川御笠川（福岡市）
みかさ



市営地下鉄博多駅構内（福岡市）



一級河川遠賀川水系穂波川（飯塚市）
おんが ほなみ いいつか

②宮城県北部を震源とする地震

<気象概況>

7月26日（土）0時13分頃、宮城県北部を震源（深さ約12km）とするマグニチュード5.5（暫定値）の地震が発生し、宮城県矢本町および鳴瀬町で震度6弱の大きな地震が観測した。

その後、7時13分頃には、午前0時13分頃に発生した地震とほぼ同じ場所を震源とするマグニチュード6.2（暫定値）の地震が発生し、宮城県矢本町、南郷町および鳴瀬町で震度6強を観測した。

さらに16時56分頃には、マグニチュード5.3（暫定値）の地震が発生し、宮城県河南町で震度6弱を観測した。

発生時刻		0：13（前震）	7：13（本震）	16：56（余震）
震源地		宮城県北部		
地震の規模		マグニチュード5.5	マグニチュード6.2	マグニチュード5.3
震度	6強	—	なんごうちょう やもとちょう 南郷町、矢本町、 なるせちょう 鳴瀬町	—
	6弱	やもとちょう なるせちょう 矢本町、鳴瀬町	かなんちょう 河南町 等	かなんちょう 河南町

※震度5強以下は省略

<人的被害> (9/26 17:00現在 消防庁調べ)

都道府県名	人的被害		住家被害		
	負傷者		全壊 棟	半壊 棟	一部 破損 棟
	重傷 人	軽傷 人			
岩手県					1
宮城県	50	625	1,068	2,952	9,402
山形県		2			
計	50	627	1,068	2,952	9,403

<公共土木施設被害> (9/12現在)

直轄	29箇所 約 92億円	
補助	338箇所 約 126億円	
	宮城県	333箇所 約 125億円
	岩手県	5箇所 約 1億円
合計	367箇所 約 218億円	

<特色・注目点>

- ・揺れの大きさの割には被害は局地的
- ・前震を伴う3度の強い地震
- ・余震の継続
- ・地震と洪水の同時発生の可能性
- ・宮城県沖地震との関係

<被災状況>
[宮城県]



なるせ しだ かしまだい
一級河川鳴瀬川(志田郡鹿島台町)



でき とおだ なんごう
一級河川出来川(遠田郡南郷町)

くらつぼ とおだ なんごう
一級河川鞍坪川(遠田郡南郷町)



きたかみうんが ものう なるせ
一級河川北上運河(桃生郡鳴瀬町)

いしのまきかしまだいおおひら
主要地方道石巻鹿島台大衡線
ものう やもと
(桃生郡矢本町)

③ 台風10号

< 気象概況 >

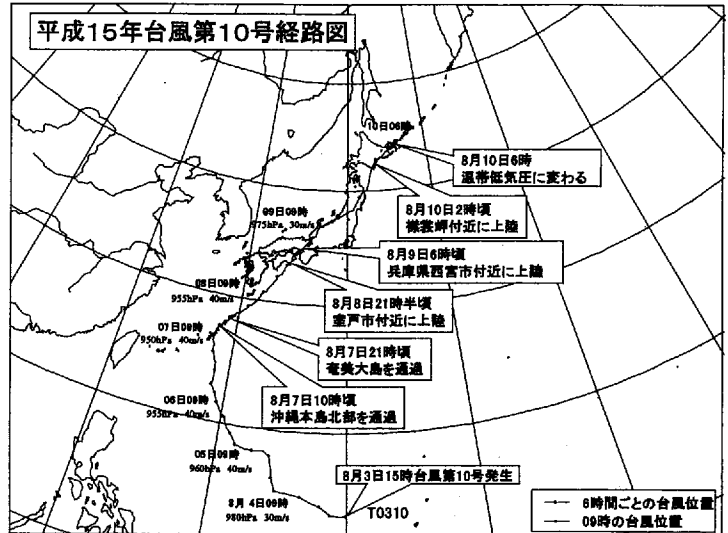
8月3日15時フィリピン東において発生した台風第10号は、7日強い勢力で沖縄本島及び奄美諸島を通過し、8日21時半頃強い勢力を保ったまま高知県室戸市付近に上陸し、9日6時頃兵庫県西宮市付近に再上陸し、10日2時過ぎ北海道襟裳岬付近に三たび上陸し、10日6時に国後島付近で温帯低気圧に変わった。

○ 総雨量 (7日0時～10日8時)

宮崎県南郷村	539ミリ
徳島県神山町	683ミリ
高知県馬路村	639ミリ
奈良県上北山町	483ミリ
和歌山県古座川町	438ミリ
愛知県津具村	390ミリ
三重県宮川村	494ミリ
北海道平取町	389ミリ
北海道日高町	368ミリ

○ 最大瞬間風速

沖縄県那覇市	50.4メートル
鹿児島県沖永良部島	48.4メートル
高知県室戸岬	69.2メートル



< 人的被害 >

(9/9 19:30現在 消防庁調べ)

都道府県名	人的被害				住家被害				
	死 者 人	行方 不明 者 人	負傷者		全 壊 棟	半 壊 棟	一部 破損 棟	床上 浸水 棟	床下 浸水 棟
			重傷 人	軽傷 人					
北海道	10	1	1	2	16	8	26	128	397
長野県	1						1		
三重県	1		1	4			30	21	15
岡山県	1			3	1		11	129	564
愛媛県	2		1	1			4		
高知県	1	1	2	3	1	2	182	1	12
その他30都府県		1	14	62	8	12	307	110	973
計	16	3	19	75	26	22	561	389	1,961

< 公共土木施設被害 >

(9/12現在)

直轄	62箇所	約 123億円
補助	5,208箇所	約 859億円
	北海道	1,131箇所 約 522億円
	高知県	461箇所 約 45億円
	和歌山県	529箇所 約 44億円
合計	5,270箇所	約 981億円

< 特色、注目点 >

- ・ 台風接近前の降雨累積
- ・ 情報伝達、早期避難の重要性
- ・ 道路規制の体制、ネットワークでの対処
- ・ 列島縦断、長丁場の災害対応
- ・ 情報の受け手の活用能力向上

<被災状況>
[北海道]



あっぺつ にいかつぶ
二級河川厚別川(新冠町)



あっぺつ
二級河川厚別川と
びゅうあつがていしやじょう もんべつ
道道比宇厚賀停車場線(門別町)



びゅうあつがていしやじょう
道道比宇厚賀停車場線(ブケマ橋)
にいかつぶ
(新冠町)



びゅうあつがていしやじょう
道道比宇厚賀停車場線(茶良瀬橋)
もんべつ
(門別町)



ぬきべつ びらとり
一級河川貫気別川(平取町)



びらとりしずない にいかつぶ
道道平取静内線(新冠町)

④平成15年（2003年）十勝沖地震

<気象概況>

9月26日（金）4時50分頃、釧路沖を震源（深さ約42km）とするマグニチュード8.0（暫定値）の地震が発生し、北海道幕別町、釧路町、新冠町、浦河町、静内町、鹿追町、豊頃町、忠類村及び厚岸町で震度6弱の大きなゆれを観測した。

その後、6時8分頃には、十勝沖を震源（深さ約21km）とするマグニチュード7.1（暫定値）の地震が発生し、北海道浦河町で震度6弱を観測した。この地震は4時50分頃に発生した釧路沖を震源とする地震の余震と考えられる。

発生時刻		4：50	6：08（余震）
震源地		釧路沖	十勝沖
地震の規模		マグニチュード8.0	マグニチュード7.1
震度	6弱	にかが 冠町、静内町等	うらかわ 浦河町
津波観測状況 （最大波）		浦河1.3m、釧路1.0m、根室0.9m ※気象庁が行った現地調査によれば、百人浜3.8m、浜大樹3.1m等が報告されている。	

<人的被害>（9/30 11:00現在 消防庁調べ）

都道府県	人的被害				住家被害		
	行方不明者 人	負傷者			全壊棟	半壊棟	一部破損棟
		重傷 人	軽傷 人	合計 人			
北海道	2	50	550	600	9	22	401
青森県		1		1			
岩手県			1	1			
合計	2	51	551	602	9	22	401

<公共土木施設被害>（9/30現在、引き続き調査中）

- 道路
 - ・直轄国道：通行規制中2箇所（解除済25箇所）
 - ・地方道：通行規制中16箇所（解除済14箇所）
 - ・高速自動車国道、有料道路：すべて解除済（解除済11区間）
- 鉄道
 - ・JR北海道 日高線、根室線 一部運転中止（バス代替輸送）
 - ・札幌発釧路行「特急まりも」がJR北海道根室本線直別駅構内で脱線。乗客39名うち軽傷1名
- 航空
 - ・釧路空港において管制塔及び空港ターミナルビルの天井落下。応急措置を実施し空港業務を再開。
- 河川
 - ・直轄：5水系14河川においてのり面崩壊、堤防クラック等発生
 - ・補助：33河川において堤防クラック等発生
- 港湾
 - ・苫小牧港、釧路港、根室港、霧多布港、十勝港、白老港、浦河港においてヤードの沈下、道路陥没等発生

<特色・注目点>

- ・2度の強い地震
- ・余震の継続
- ・津波の発生と避難
- ・タンク火災
- ・公共土木施設の被害が大きい一方で建物被害は限定的

<被災状況>
[北海道]



うしゅべつ とよころ
一級河川牛首別川(豊頃町)



とかち うらほろ
一級河川十勝川(浦幌町)



うらほろ うらほろ
一級河川浦幌川(浦幌町)



おびひろ うらほろ とよころ
主要道道帯広浦幌線(豊頃町)

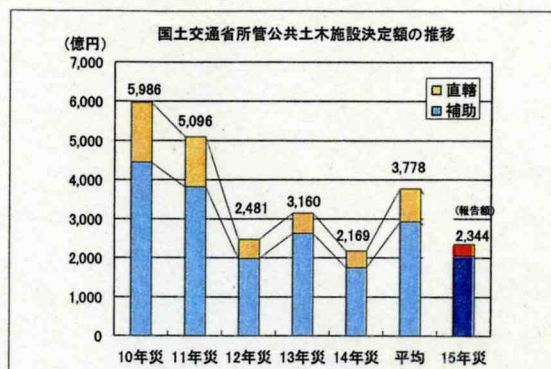


おおつちようぶし とよころ
一般道道大津長節線(豊頃町)

平成15年の公共土木施設の被災状況

平成15年発生災害に係る国土交通省所管公共土木施設（直轄、補助）の被害は、9月12日現在、約14,682箇所、2,344億円が報告されており、それぞれ昨年同時期の約89%、約78%となっている。

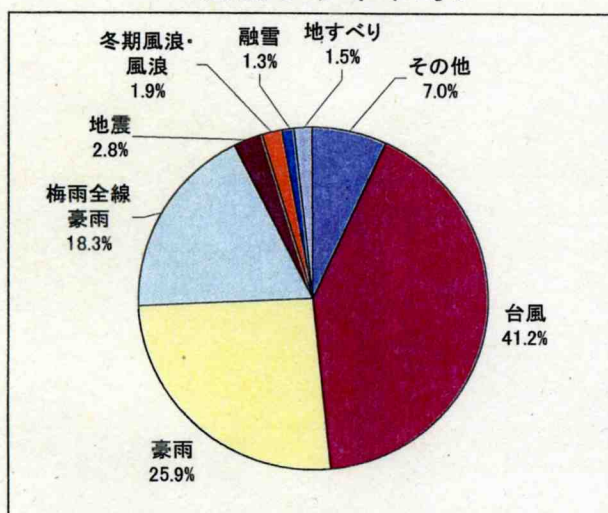
- ・ 過去5ヶ年の平均
3,778億円（H10～14年の平均決定額）
- ・ 平成15年
2,344億円（9/12現在の被害報告額）



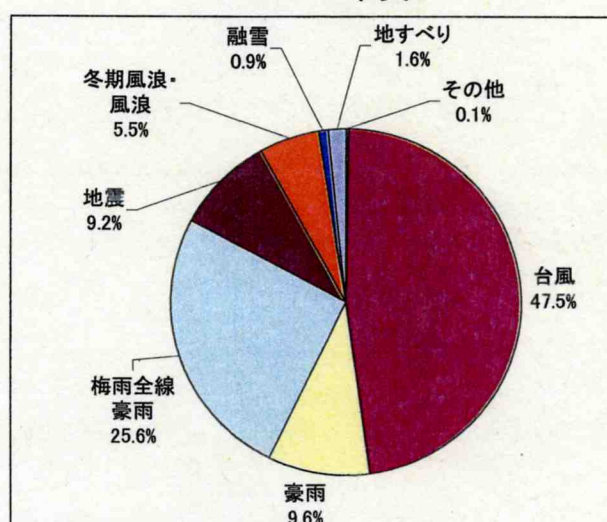
※15年災は、被害報告ベース（9/12現在）

○異常気象別発生状況

<過去5ヶ年平均>

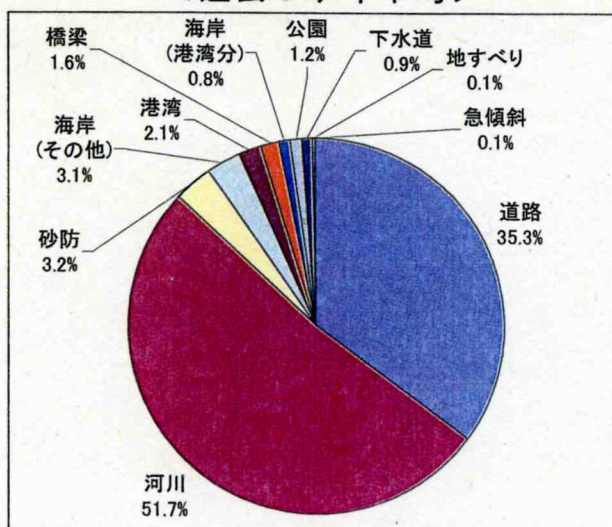


<H15年災>



○工種別発生状況

<過去5ヶ年平均>



<H15年災>

